



国土交通省道路局長 殿

長野県 坂城町長 中沢 一



—今後の道路政策や道路の整備・管理について—

重点化を進める上で特に優先度の高い政策

坂城町は長野県の東北部の一郭にあり、長野広域と上田広域の結節点であって、長野・上田両広域連合に加入しております。東部から北部へ貫流する千曲川の中流に沿い、坂城広谷として一独立地域を占めております。

千曲川が貫通谷をつくって北に抜けており、善光寺平との接触点にあたり、地勢的特性があるばかりでなく、坂城町の気象的特性、さらには産業・交通、及び町の生活・文化などの発展の特性となっており、自然と文化の接点であり交流点でもあります。

古く宿場町が繁栄した北国街道の交通路になり、新しくは北陸新幹線・上信越自動車道・国道18号・県道・しなの鉄道の交通路となっております。

坂城町は、交通の利便性に恵まれておりますが、雨が多く降りますと、坂城町を南北に走っております全ての交通機関が通行止めというリスクがあります。

地域の地勢、交通の事情を考えた、災害時・地震時等の緊急輸送道路など重要な道路ネットワークの整備は特に優先度を高くし整備をする政策を強く望みます。

「上田更埴国道18号バイパス」の整備を順調に進めて頂いており感謝をする次第でございますが、バイパスの結節点である坂城町部分のバイパスの整備については、未だ事業の認定がされていない状況であります。

坂城町の地域については、国道・県道を利用するようになりますが、国道との間には、千曲川があり、これを渡るのには、規格の低い20t荷重の橋梁を通る必要があり、しなの鉄道も通過しなければなりません。また、県道に至っては、崖の下を通過している危険な状況があり、崩落の危険性があり、降雨の量が多くなると通行止めとなることもあります。

町では、「上田更埴国道18号バイパス」の期成同盟会を組織し、町民が一致団結をし一丸となり早期な事業実施区間の認定を切実に要望している状況であります。